

町民のみなさんと議会をつなぐ



# 2018 ぴっぷろ議会だより

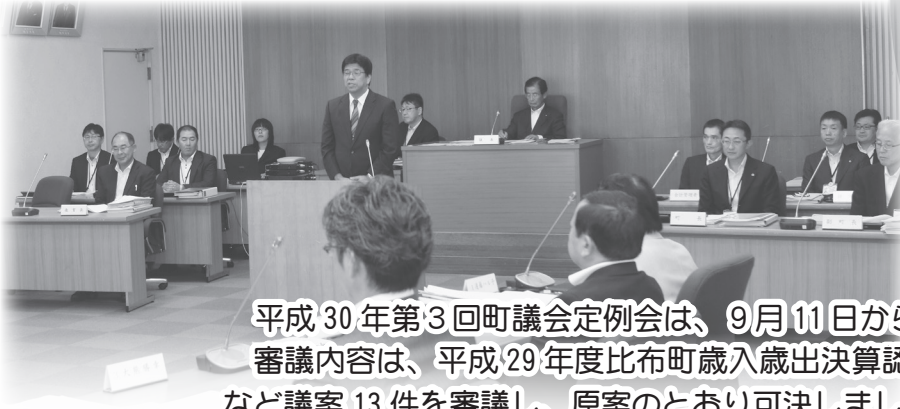


腹筋運動で体力くらべ  
町民スポーツフェスティバル（10月15日）

- 審議結果「9月定例会」ほか・・・・・・・・・・ 2
- 一般質問　ズバリ！ここが聞きたい・・・・・・・・ 4
- 平成29年度各会計決算を認定・・・・・・・・・・ 7
- 委員会の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 委員会合同行政視察調査報告・・・・・・・・・・ 12

# 9月定例会

## 審議結果



平成30年第3回町議会定例会は、9月11日から13日まで開かれました。審議内容は、平成29年度比布町歳入歳出決算認定をはじめ、教育長の任命など議案13件を審議し、原案のとおり可決しました。主な審議内容についてお知らせします。

### 報告

◆地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく報告

平成29年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率を議会に報告し、財政の健全性を維持するものです。

実質赤字比率、連結実質赤字率、実質公債費比率、将来負担比率の4つの指標がありますが、本町の財政はいずれも基準値内の数値であり「健全である」との報告がありました。

### 認定

◆平成29年度比布町歳入歳出決算認定

中本諭委員長ほか6人で構成する決算特別委員会に付託した決算審議の結果、認定されました。

### 人事

◆教育長の任命

任期満了に伴う教育長の任命について、新たに北川範之氏（東町）を

任命することで同意しました。

◆教育委員会委員の任命

任期満了に伴う教育委員会委員の任命について、引き続き、加地道喜氏（中町）を任命することで同意しました。

◆固定資産評価審査委員会委員の選任

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の選任について、引き続き、山崎誠一氏（新町）を選任することで同意しました。

### 条例改正

◆職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

労働基準監督署からの是正勧告を受けての条例改正。総務省から、時間外勤務手当等の算出に用いる勤務1時間当たりの給与額について、適切に対応する旨の通知を受け、必要な改正を行うものです。【原案可決】

◆比布町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

◆比布町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のため

の効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

国の基準省令の改正を受けての改正です。【原案可決】

◆比布町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

国の基準省令の改正により、放課後児童健全育成事業（児童クラブ）に従事する者の資格要件が新たに加わったため、必要な改正を行うものです。【原案可決】

### その他

◆財産の取得

町立診療所びっぷクリニックで使用する平成21年に購入した電子カルテを更新。1965万6千円で契約するものです。【原案可決】

◆平成30年度一般会計補正予算ほか4会計は増額、1会計は組替補正

- 一般（第3号）1496万円
- 国保（第2号）65万円組替
- 介護保険（第1号）2015万円
- 観光事業（第2号）40万円
- 簡易水道（第2号）500万円

【原案可決】

**\*教育長の退任・就任\***

本定例会において、新たに教育長に任命された北川範之氏。そして7年間、教育長を務められた谷義則氏から、それぞれあいさつがありました。



北川 範之 氏  
10月1日付就任



谷 義則 氏  
9月30日付退任

**\*意見書を提出\***

9月13日開会の本定例会において、次のとおり意見書を採択し、それぞれ関係機関に提出しました。  
◆林業木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

**【提出先】**

衆参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、復興大臣

**第4回臨時会**

10月17日

**◆議決事項の一部変更について**

比布中学校外構工事の一部変更により、552万9600円を増額して契約を結ぶものです。【原案可決】

**◆平成30年度一般会計補正予算（第4号）**  
2000万円の増【原案可決】

**全道議会広報研修会報告**  
「読まれ伝わる」議会だより

8月22日に札幌市において研修会が開かれ、全道の議会広報に携わる町村議会議員と事務局職員など、約520人が参加しました。

議会広報特別委員会委員5人と事務局職員が参加し、講師の広報コンサルタント・芳野政明氏から「住民に読まれ伝わる」議会広報紙の作成技術の講義を受けました。

研修会で学んだ「読まれ伝わる」紙面づくりに努めていきたいと思えます。

（遠藤 ハル子）

**傍聴者のこえにお答えします**

前号に掲載の傍聴された方からのご意見に対して

議会への感想やご意見をいただき、ありがとうございます。

「町民のみなさんが興味を持って来ていただけるよう、何か対策を考えてみては」とのご意見ですが、まずは、議会の傍聴に多くの町民の方々に足を運んでいただけるよう、無線放送の周知方法から改善していく予定です。

小さな取り組みかもしれませんが、何事も積み重ねが大切であると思います。

よりよいまちづくりのために、町民の皆さんが求める議会を目指してまいりますので、議会に対するご意見、議会だよりに関するご感想などを、ぜひ、お寄せください。

議会広報特別委員会



**平成30年度各会計補正予算**

（第3回定例会、第4回臨時会）

**一般会計（第3号） 1,496万円の増**  
総額 46億2,270万円→46億3,766万円  
■簡易水道事業会計への繰出金の増ほか

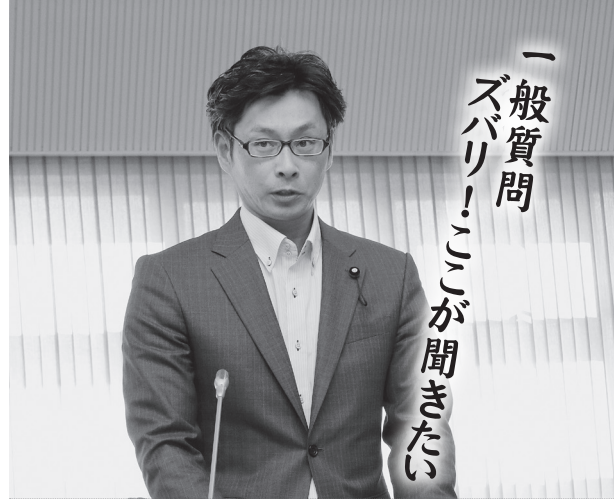
**一般会計（第4号） 2,000万円の増**  
総額 46億3,766万円→46億5,766万円  
■公有財産管理事業（ヴォレアス）補助金の増

**国民健康保険（第2号） 65万円組替**  
総額 5億7,204万円→5億7,204万円  
■過年度精算に伴う返還金の増（予備費からの補正）

**介護保険（第1号） 2,015万円の増**  
総額 6億1,230万円→6億3,245万円  
■過年度精算に伴う返還金、基金積立金の増ほか

**観光事業（第2号） 40万円の増**  
総額 1億8,355万円→1億8,395万円  
■スキー場の消費税支払い分の増

**簡易水道事業（第2号） 500万円の増**  
総額 2億1,516万円→2億2,016万円  
■一般会計からの繰入金金の増



大熊 勝幸 議員

## まちづくりパートナー 「ヴォレアス」との連携の考え方は

村中町長 >>>

### ヴォレアスの招致は出発点 新たなつながりで比布の魅力を一体的に



まちづくりパートナー  
町民とヴォレアスとの  
新たなつながり



□質問・大熊議員

人口減少、地方消滅については、3月、6月の一般質問に対する答弁において、「地方消滅とは、具体的には市町村合併を示しており、このまま何もしなければ、比布町も合併し、自治体ではなく一地域となってしまう」と述べられました。

消滅を防ぐためには、町民・議会・行政が一体となり、民間のまちづくりパートナーとの重要性を述べられています。

その意味で、旧中学校の再利用として、㈱ヴォレアスとの連携事業を進めていることに期待します。

今後、具体的に進めていくにあたり、比布町第12次まちづくり計画に、この新しいまちづくりパートナーと

の連携をしっかりと深め、成果を得ていくためには、町内事業所や団体との連携が不可欠だと思います。

そこで、ヴォレアスと行政以外の既存のまちづくりパートナーとの連携について、今後どのように進めていくのか伺います。

■答弁・村中町長

地方消滅については、具体的に市町村合併を意味することと認識し、民間のまちづくりパートナーとの連携を深められるかどうかだと言っても過言ではないと思います。

これまでも農協や商工会をはじめ、さまざまな分野の皆さまがまちづくりにご協力いただいています。

このたびの㈱ヴォレアスとの連携も、新たなまちづくりパートナーとして、協力いただけると期待します。スポーツを通じた交流人口の増加を目指していることから、農協や商工会、町内の宿泊施設、飲食店、農産物をはじめとする魅力を一体的に提示する仕組みづくりを行いたいと考えます。

ヴォレアスの招致は出発点であり、策定を進めている第12次比布町まちづくり計画におきましても、町民とヴォレアス、新たにつながりを持つ皆さまとともに、進められるよう取り組んでまいります。

□質問・大熊議員

町からの交付金は、解体する際に負担する予定だった3千万円ですが、ヴォレアスが校舎を活用するためだと認識しています。

町の課題を解決するために必要な取り組みもありますが、ヴォレアスだけではできないこともあると思います。

そうした場合に町の責任、負担で取り組む場面もあるかと思いますが町の政策費として負担しなければならぬときはどうお考えですか。

■答弁・村中町長

町がお願いすることについては、町も一部負担することはあるかと思っています。

ヴォレアス自体も収益を生まなければいけないので、そういったところは一定程度、ヴォレアス側も負担しなければいけないと思うので、全額負担になるか分かりませんが、今後、町民のためになる、健康づくりになる、あるいは、町のPRになるということであれば、支援の可能性はあると考えています。



一般質問  
ズバリ！ここが聞きたい

遠藤 ハル子 議員

## 運転免許返上後の対策の新設を

村中町長 >>>

### 事故を起こす前に自ら返納を 「びびたく」の充実推進にも取り組む

□質問・遠藤議員

昨年度から運転免許更新時の認知症検査の結果公表が許可されるようになりました。

それによつて、交通事故抑止と認知症予防が進む方の生活の質向上になると言われますが、かえつて生活が不便になることから自動車を手離さない方もいます。

すでに近隣町では、2年前から運転免許返上政策を行っています。

町としての運転免許返上後の対策を伺います。



■答弁・村中町長

年齢とともに変化する身体機能を理解していただき、事故などを起こす前に自ら運転免許証を自主返納したうえで、快適に生活できる施策が必要であると認識をしています。

本町は、2014年8月から比布町高齢者等移動支援事業「びびたく」による日常生活支援や社会参加を促し、自立と生活の質を高める施策を行っています。

運転免許証を自主返納していただく町民を含めての施策として、より利用しやすく喜んでいただけるサービスとして、制度の充実推進に取り組みます。

□質問・遠藤議員

### 「夜間救急時に使える交通体制を」

昼間の交通手段は確立されていますが、緊急時に対応する交通手段が未確立です。

夜間対応をしてくれる移動交通手段事業者と提携してほしいという要望があります。緊急時にも対応できる交通手段の確立を1日も早くできないか町長に伺います。

■答弁・村中町長

営業時間外となる夜間においては、本町にはタクシース会社がないことから、高齢者や交通弱者の方々にはご不便をおかけしていると認識しています。

以前にも、これまでお世話になりましたタクシース会社へ営業所の設置をお願いした経過があります。誘致も含め、自治体の責任として夜間の交通手段を確保することはハードルが高いと考えますが、機会をつくり再度、協議をしていきます。

当面の対策として、現在24時間対応で営業していた旭川市内のタクシース会社の情報提供など、町民への周知を図ることにより、少しでも利便性を高め、安心していただけるよう対応していきます。

□質問・遠藤議員

夜間も営業できるとすれば利益も上がり、収入と経費のバランスがとれるかもしれません。

民間事業者が、少し町の仕事を受けて協力していただけないかと考えを結ぶことが可能ではないかと考えます。

びびたく2台目としての事業所の形態を考えてはどうでしょうか。

■答弁・村中町長

それは過大な負担になり、効率的ではないと思います。

びびたくの対象範囲を一部拡大しましたが、現在のところ問題なく、1台で間に合っています。

今後とも、各会社との協議に時間がかかるかもしれませんが、情報提供の方法を考えて進めます。



困ったわねえ  
どうすれば...?





植西 浩一 議員

# 高齢者のふれあい活動の場 老人センターの充実を

村中町長 >>>

## 老朽化に伴う整備が必要であると 認識している

□質問・植西議員

各町内会から行きやすい場所にある老人センターをサロンなどで使いやすい場所にしてはどうですか。

老人センターなら畳の部屋もあり、また、カラオケも設置してあります。

施設が老朽化しておりますが施設を充実させ、町民の集う場所とするお考えはありますか。

■答弁・村中町長

行政、社会福祉協議会そして生活助け合い協議会「びっぷの和」が連携してふれあい活動の拠点として、また、高齢者の生きがい発信の場としてサロンなどが開催されています。

現在の老人センターは、老人クラブが主に使用しており、サロン活動と併用するには協議が必要だと考えます。

また、老朽化への対処については、活動拠点の整備が必要であることは認識しております。

□質問・植西議員

広い場所を提供することで集まる人数を制限することなくサロンを使えるのではないですか。

■答弁・村中町長

広さについては、新たに設置され

た三平サロンで、どの程度の利用があるか検証できていないため、今後の課題とします。



老朽化している「老人センター」



空き店舗（元三平食堂）を活用した「三平サロン」

□質問・植西議員

子どもたちのために

教育現場の充実を

比布町の教育環境は、まだまだ改善が必要だと思えます。

これについて、今までの取り組みと今後の展望、学校運営協議会の設置時期、また、その必要性についての見解をお聞かせください。

■答弁・村中町長

現在、取り組まれている現状について文科科学省の分析では、比布の小中学校は良好であることが示されています。

学校運営協議会については「地域と共にある学校」を目指して取り組むことが重要です。

設置に向けた勉強会などを実施しており、家庭や地域、小中学校の連携を深めながら本町の特色を生かした教育現場の充実をめめます。

□質問・植西議員

内閣府が実施している調査では、自己肯定感は、学年が上がるにつれて低下しています。同時に学力が低い生徒は、自己肯定感が低いと言われています。

国の調査でも青少年行政の総合化が必要であると言われていることを踏まえ、比布町でも総合的に考えなくてはならないのではありませんか。

■答弁・村中町長

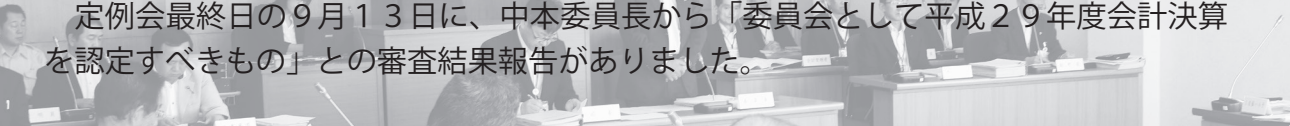
本町でも総合教育会議を開いており、総合的な活動をしています。

今後、さまざまな角度から子どもたちの自己肯定感を高められるように努力していきます。

# 平成29年度各会計決算を認定

平成29年度各会計決算は、議長及び議選監査八巻良博議員を除く議員7人で構成する決算特別委員会（委員長中本諭・副議長）を設置し、9月11日から12日の2日間にわたり、審議を行いました。

定例会最終日の9月13日に、中本委員長から「委員会として平成29年度会計決算を認定すべきもの」との審査結果報告がありました。



| 区分          | 予算現額           | 支出済額                                  | 差引           |
|-------------|----------------|---------------------------------------|--------------|
| 一般会計        | 5,815,740,000円 | 4,965,381,658円<br>翌年度繰越額 667,098,800円 | 183,259,542円 |
| 国民健康保険特別会計  | 643,908,000円   | 600,774,265円                          | 43,133,735円  |
| 後期高齢者医療特別会計 | 62,011,000円    | 60,182,916円                           | 1,828,084円   |
| 介護保険特別会計    | 624,053,000円   | 605,194,948円                          | 18,858,052円  |
| 観光事業特別会計    | 143,749,000円   | 127,951,206円                          | 15,797,794円  |
| 簡易水道事業特別会計  | 281,424,000円   | 279,194,692円                          | 2,229,308円   |
| 公共下水道事業特別会計 | 97,248,000円    | 94,959,862円                           | 2,288,138円   |
| 合計          | 7,668,133,000円 | 6,733,639,547円<br>翌年度繰越額 667,098,800円 | 267,394,653円 |

## ▼一般会計【歳入】

### 使用料及び手数料

#### Q 植西委員

グリーンパークの収入に対し、経費が4倍程度となっているが適正な管理料なのか。

また、地域資源を生かした観光や採算性から、やめることも検討する必要があるのではないかと。

#### A 産業振興課長

パークゴルフ利用者が減少傾向にあり、収入も減少が続いている。コース整備等適切な管理は行っており、整備に係る経費は当面現状の考え。今後はファミリー層が楽しめるエリアとしても検討するとともに、グリーンパークを含めた良佳村の再整備による収入増を検討したい。

#### A 村中町長

行政が運営する施設で、今は赤字なものはなく、行政サービスの一環として赤字で運営しているところがある。時代のニーズにも臨機応変に対応すべきだが、再整備計画、または、まちづくり計画の中でご意見をいただき検討したい。

#### Q 佐藤・遠藤委員

旧蘭留小学校は賃貸契約だが8割の減免を当初より行っており、最近、目的外の利用を行っているが、許可したものなのか。

また、経営の実情を考えると、契約の解除やそれに伴う保証金の問題など、行政としての対応を検討すべきではないかと。

#### A 生涯学習課長

事業内容の変更については、協議はなかった。保証金については、契約内容を含め協議をしたい。

#### A 谷教育長

現状は厳しいものがあるようであり、当初の利用目的からは外れてきている。本人は比布での開業に強い思いがあり、今後の運営計画を含め、早い段階で協議をしていきたい。

## ▼一般会計【歳出】

### 総務費

#### Q 佐藤委員

移住定住事業の民間住宅建設補助の効果、成果はどうか。

また、町営住宅解体後の跡地の活用、生活困窮者の住宅確保など、民間と町営住宅のバランスはどうか。

#### A 村中町長

月単位だが人口が増加となるなど効果が表れており、民間住宅建設を考慮し、町営住宅を減少することでバランスはとれていると思う。住宅困窮者のための町営住宅は当然必要であり、跡地利用は皆さんと協議をしていきたい。

また、引き続き宅建協会旭川支部も活用することで民有地の売買も支援する。

**Q 植西委員**

生活安全対策費の不用額があるが、補助的な街灯の設置等、防犯対策に活用できなかったのか。

また、防犯ハザードマップを作成する考えはないか。

**A 総務企画課長**

街灯の必要箇所には要望があれば設置しているが、住民が自発的に防犯対策への支援については今後検討したい。

また、防犯ハザードマップは作成することによるリスクもあるので、その点を確認し、検討したい。

**Q 安藤委員**

通学路として利用されている北1線7号交差点には、横断歩道の設置が可能なのか。

**A 総務企画課長**

道路管理者や警察などの関係機関に対して、要望していきたい。

**Q 佐藤委員**

防災諸費で、今回の地震による停電時にも対応できるような庁舎用非常用電源の確保が必要かと思うがどうか。

**A 村中町長**

今回の停電では、上下水道用の発電機は確保されていたが、庁舎内は

小さな発電機での対応となった。予算の範囲で検討したい。

**衛生費**

**Q 遠藤委員**

予防費、健康マイレージ事業の対象者に対して応募者が少なく周知などが不足ではないか。

**A 保健福祉課長**

健康マイレージの応募者は減少しているが、対象者の申告であり、課題はないと考えている。マイレージが取得できる機会についての周知方法や改善点について検討したい。

**農業費**

**Q 植西委員**

交流促進施設の指定管理にかかる費用が高額であり、管理者が営業努力をしているのかが伝わらない。詳細な決算書等を提出させて協議すべきではないか。



指定管理者が運営する「遊湯びっぶ」

**A 産業振興課長**

協定に基づき指定管理料のほかに大型修繕にかかる分として支出している。指定管理者の決算後には報告書も提出されており、協議もしている。管理者もさまざまな努力を行っているが、利用者総体が減少しているので良佳村全体を含めて検討していきたい。

**商工費**

**Q 山内委員**

いちご狩り振興事業で、今年のように雨天によるいちご狩りへの影響が大きいので、対策が必要と思うがどうか。

**A 産業振興課長**

今年は、雨の影響でいちご狩りについては多くの農園が早い閉園となった。現在も一定程度、補助を行っているが農園側の負担もある。プロジェクトチームによる研究を進めており、新品種の試験栽培を行うなど、引き続き支援を行いたい。

**土木費**

**Q 佐藤委員**

昨年度は特に降雪が多く、道道についても、町で除雪を実施した経過があるが、特に五差路から駅までは路面状況が悪化するので、道の建設管理部と連携して必要に応じて町で

も除排雪をすることは可能なのか。

**A 建設課長**

引き続き、道へは強く要望を行っていく。必要時には町でも対応するが、駅前の排雪を行うとなると夜間となるので、通常の除雪に影響が出ない方法も検討したい。

**Q 植西議員**

駅前通りの道路に自宅の雪を出す人もいるので啓蒙活動を行ってはどうか。

**A 建設課長**

道路交通法の違反ともなるので、指導等はさせていただいている。

**消防費**

**Q 佐藤委員**

通常時の消防・救急出動に加え、近年は、高速・高規格道路の事故やドクターヘリの対応出動などが増えており、今後の職員募集も含めて、現在の15人体制で十分なのか。

**A 消防署長**

夜間・休日は4人体制となることから、場合によっては職員を招集し、対応しているが、最近は高速道路やドクターヘリの事案も多くなっている。

**A 村中町長**

現在の15人体制は多いとは思っていない。職員の構成を考慮しながら採用については努力したい。



教育費

Q 植西委員

学校給食はカロリーベースで提供されているが、ミネラルベースでの試算はされているか。

また、給食の量が不足しているとの声はないか。

A 生涯学習課長

試算はしていない。不足という意見もない。学校栄養教諭に研究してもらい、来年度に向けて協議したい。

Q 遠藤委員

文化・スポーツ団体補助金は、過去に2割削減されたが、加盟団体を増やすためにも見直す考えはあるか。

A 生涯学習課長

各団体全体の活動費が増加するようであれば考えたい。

Q 安藤委員

郷土資料館の展示物が破損しているが管理はどうしているのか。  
また、展示物に説明書きもないことから、説明できる人材の育成などが必要ではないか。

A 生涯学習課長

確認して修繕をしたい。また、説明書きについても検討していきたい。

Q 植西委員

教育費全体の不用額を計画的な施

設の維持管理の費用に充てることのできたのではないか。

A 生涯学習課長

各施設の修繕は随時行っているが、計画的には行っていない。今後、各施設の修繕計画を策定する考えである。

▼簡易水道事業特別会計

Q 植西委員

水源である石狩川の汲み上げポンプが故障した場合は、何日程度給水が可能か。

A 建設課長

また、貯水槽的なものはあるのか。  
貯水槽はあるが、何日も供給することはできない。

Q 山内委員

水道料金が未払いの場合に給水停止の例はあるのか。

A 建設課長

給水停止予告の段階で支払われている状況であり、最近給水停止の実績はない。

▼財産に関する調書

Q 山内委員

庁舎等整備基金について、庁舎改築の考え方はどうか。

A 村中町長

いずれは整備しなければならぬと考えている。財政状況も勘案しながら次期まちづくり計画で方向づけをしたい。

▼総括質疑

Q 山内委員

予算に対する歳出の割合を上げることによって、より住民サービスに反映すべきではないか。

A 村中町長

不用額については、さまざまな議論があり、内容によってはご指摘をいただくべきものだが、予算を適切に執行するなかで、効率的な運用や経費節減などにより発生しているものと考えている。

また、翌年度の財源ともなることから無駄ではなく、予算を効率的に執行することにより、残額は一定程度はあってもよいと考えているので理解をいただきたい。

Q 佐藤委員

2017年度(平成29年度)は、移住定住対策事業があり、今後の効果についても分析を行うべき。

また、改築検討委員会をはじめ、関係者のご尽力により、新しい中学校校舎が完成したが、今後は小中連携の実践に加え、中央小学校のメンテナンスの時期にもなってきている。

2019年度のまちづくり、予算づくりの抱負について伺いたい。

A 村中町長

移住者がゼロなら大幅に人口が減少することになるので、町と民間の事業を併せて分析できればと考えている。

また、中学校校舎改築については、小中一貫教育型学校としてハードが整い、地域住民も一体となった学校運営が進められればと考えており、中央小学校も含め、公共施設の維持管理については、計画を作る予定である。

町民の方々に「比布町に住んで良かった」と思われるまちづくりを進めていきたいと考えており、第12次まちづくり計画にもご意見をいただければと思う。

A 谷教育長

『まちづくりは、人づくり』であり、『人づくり』には教育が必要。年齢にかかわらず、すべての町民が教育に関われる体制づくりが重要であり、その関わりを大きくするのが小中一貫型学校やコミュニティ・スクールだと思うので、新教育長となる北川さんに継続していただきたい。



## 活動

総務常任委員会

8月31日開催



各課からの説明の様子

### 《協議事項》

▼一般会計補正予算（案）について  
戸籍事務に係る旧字・外字を全国統一し、戸籍とマイナンバーカードに連携する戸籍システムを更新する予定です。

▼過疎地域自立促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の制定（案）について

### 【保健福祉課】

#### 《説明及び協議事項》

▼第3回定例会提出議案について  
財産の取得について  
ぴっぷクリニック電子カルテ・医療事務システムの更新予定です。

▼指定管理者の指定（案）について  
▼一般会計補正予算（案）について

▼介護保険関係条例の一部改正（案）について  
▼待機児童解消に向けた保育環境整備について  
認可外保育施設運営事業（案）

については、社会福祉法人大悲会との契約を予定。特別養護老人ホームあそか苑内の訓練室及びマイトリの和室で保育実施に向けて協議中です。

▼新火葬場建設工事实施設計（案）について  
前回の委員会に引き続き、設計案が提出され、変更箇所の説明と冬期利用時（靴の雪付着による転倒防止）を考慮した床材の使用や多目的トイレの位置等を協議しました。

▼住民主体による高齢者の集いの場「三平サロン」の実施について  
社会福祉協議会が事務局となり、一般参加の町民が主体で運営される事業です。

### 【生涯学習課】

#### 《報告事項》

▼平成29年度比布町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価について  
▼平成30年度君の夢プロジェクト推進事業について

▼中学生チャレンジゼミについて  
▼図書館蔵書点検について  
▼平成30年度比布町文化賞及び文化奨励賞について  
▼多目的室内運動場灯油漏えい回収作業の終結について

○委員会からの意見  
施設管理専門員と各課の連携を図り、四半期程度の定期点検実施を提案しました。

▼比布中学校外構工事に係る設計変更について

### 《協議事項》

▼比布町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する（案）について

▼一般会計補正予算（案）について  
小中学生の少年団・部活動において、全道・全国への活躍がめざましく当初予算100万円に不足が見込まれ、50万円を追加補正します。

▼比布町立学校施設使用条例の一部改正（案）について

### 【総務企画課】

#### 《報告事項》

▼第3回定例会提出議案について  
▼平成30年度地方交付税の決定について

▼平成30年度人事院勧告について  
▼平成31年度職員採用試験について

▼バルクリース事業対象事業の決定について  
▼比布町応援大使事業の経過について

### 《協議事項》

▼第3回定例会提出議案について  
▼地方公共団体の財政健全化に関

### 【税務住民課】

#### 《報告事項》

▼平成30年度町税の課税（当初）状況について

▼平成30年度町税等の収入状況（7月末）について

▼上川広域滞納整理機構の収納状況について

する報告

▼平成29年度比布町歳入歳出決算認定

▼職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

▼一般会計補正予算(案)について

## 総務常任委員会

10月17日開催

▼議決事項(比布中学校外構工事契約)の一部変更について

▼一般会計補正予算(案)について(ヴォレアスへの補助金)

▼死亡診断書手数料の過大徴収について

▼町立診療所「びっぶクリニック」

において、平成20年1月から本年6月までに作成した死亡診断書の手数料を過大に徴収していたことが判明しました。

▼手数料は、町立診療所条例で1通3千円と定められており、これを上回る額で徴収していたことについて、クリニックの認識不足と町の確認不足によるものと報告がありました。

▼今後も引き続き調査を進めるとともに、過大徴収分は返還する方針との説明を受けました。

## 産業建設常任委員会

9月5日開催

### 【産業振興課】

#### ▽商工・観光部門

##### 《報告事項》

■各観光施設の利用状況について  
遊湯びっぶは、入浴者は前年比94・3%、宿泊者は前年比100%を超える月もありました。ビジネスプラン等が好評。経費においては、重油の高騰により負担が大きくなっています。

グリーンパークは、パークゴルフの利用者減少が続ぎ、厳しい状況です。

■各イベント等の実施状況について

泥んこバレーは雨模様でしたが、びっぶ良佳村フェスティバル、七夕天国は天候に恵まれ、来場者も多く好評でした。

いちご狩りは、開園後半に雨天の影響により、早期の閉園となった農園が多い状況でした。

■びっぶスキー場関連工事等の進捗状況について

・各リフト一部更新工事  
1050万円

・雪番屋屋根外装塗装工事  
560万円

・雪番屋内天井改修工事  
468万円

##### 《協議事項》

▼観光事業特別会計補正予算(案)について  
圧雪車購入費用は、観光事業基金から繰り入れを行い、支出する予定であったが、観光施設整備事業債に変更できたため、財源内訳を変更します。

#### ▽農林部門

《報告事項》

■農作物の作付状況について  
天候不順により、米の生育不良が全体にあり、厳しい状況です。小麦は、刈り取りが終了しているが、一等麦がなく、収量においても厳しい状況です。

野菜においても、全体的に生産量が少ない状況です。

■クマの出没状況について  
クマの目撃情報は、今年度34日あり、8月23日を最後に情報がありません。箱わなは2か所設置しているが、捕獲には至っていない状況です。

■ランル貯水池にかかるハザードマップの作成について  
国の指導により作成します。

### 【建設課】

##### 《協議事項》

▼町営住宅等建替え計画変更(案)について  
計画当初は、世帯向け住宅308戸、単身者住宅44戸があるが、比布町の人口動向を鑑み、また、民間住宅の新たな建設等を含め、5年後の2023年には、世帯向け住宅を242戸(66戸減少)とし、次期まちづくり計画へ反映。

○委員会からの意見  
計画の変更は認めるが、民間住宅増加による町の計画との整合性や、取り壊し後の跡地利用について、今後の検討が必要です。

##### 《報告事項》

■建設工事の発注及び進捗状況について

■道路環境整備事業等の実施状況について

### 【農業委員会】

##### 《報告事項》

■平成30年産水稻作況調査等について

■農業用地集積状況について

□意見書案審議(議会提出分)

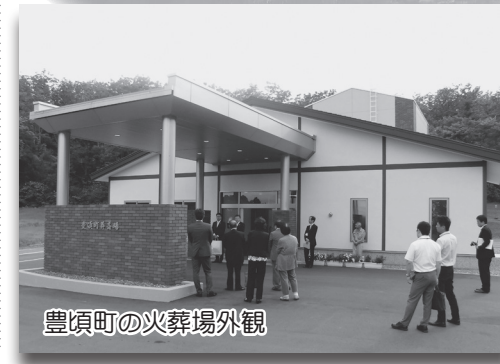
林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

# 合同行政視察調査

平成30年8月27～28日 豊頃町・音更町

本町での火葬場建設前の調査のため、中川郡豊頃町へ最新の斎場施設（火葬場）を視察。

また、良佳村再整備に向け、河東郡音更町の北海道立十勝エコロジープークを視察しました。



豊頃町の火葬場外観

## 【豊頃町の概要】

北海道十勝地方の東南端に位置する農業と漁業を基幹産業とする人口約3,200人の町で、明治30年、開拓に大きな役割を果たした二宮尊親（二宮尊徳の孫）が福島県から興復社一行を率いて二宮地区に入植し、現在に至ります。

- ◆面積 536.71 k㎡
- ◆人口 3,183人（平成30年3月31日現在）
- ◆主要産業 農業・水産業

## 【火葬場施設の概要】

- 構造 鉄筋コンクリート造2階建て  
一部木造平屋
- 床面積 1階241.64㎡、2階68.00㎡、  
計309.64㎡
- 主要施設  
炉室（火葬炉1基）、告別ホール1室（告別～収骨一体型）、待合室1室（25畳／一部小上がり）、事務所兼給湯室、トイレ（男子、女子兼多機能）、残灰室、駐車場ほか
- 総事業費 1億7,500万円

## 【委員会所見】

告別ホールは、遺族や会葬者に優しい葬斎場として厳粛で、心落ち着く仕上げがされ、高齢な方や障がいのある方にも適応するバリアフリー化を図るとともに、エントランスホールに向かう動線や待合室、多機能トイレも、ゆとりある設計が施されていました。

火葬炉は、排煙に含まれるダイオキシン等の有害物質を抑制し、環境負荷の低減が図られるとともに、火葬炉の運転は本施設以外の札幌支店でも燃焼状況やそのデータが分析され、モニターを通じて遠隔操作可能な機種が導入されています。

業務の効率化と運営に適した構造・設備とし、維持管理コストの節減が図られていました。



ゆとりある待合室



多機能トイレ

本町の火葬場は、1972年（昭和47年）に、総工費720万円を予算化し、補強コンクリートブロック造り、平屋建て約94平方メートルの建物と、灯油・薪・炭、兼用の火葬炉を建設、前庭整備が行われ、また、当時の町議会議長故・岡崎豊次郎氏が中心となり集められた貴重な浄財で、青鋼製の「慈母子安観音像」が建立。故・三浦孝一氏が施設管理と奉仕の花壇造成を行い、「見晴らし観音台」と名付けられました。

このたび、豊頃町の最新施設を研修視察した成果とともに、先人の方々の郷土比布町に対する情熱や思い、ご苦労に感謝しつつ、新施設の改築に努めてまいります。

総務常任委員長 佐藤 康則



管理担当者の説明を受けて



ビジターセンター前広場



子どもの遊び場「フワフワドーム」



ファミリー層に人気の「コテージ」

### 【音更町の概要】

十勝平野のほぼ中央部に位置し、町内東部の南北に長流枝内丘陵があるほかはほぼ平坦な地形。小麦や小豆の作付面積が日本一。

- ◆面積 466.02 k㎡
- ◆人口 44,858人（平成30年3月31日現在）
- ◆主要産業 農業

### 【十勝エコロジーパークの概要】

北海道が平成7年に道立公園適地と定め、平成18年に全面供用開始となり、現在、音更町・池田町・幕別町の3町にまたがる広大な公園で、すべてのエリアを含めると409ヘクタールとなります。

### 【委員会所見】

十勝エコロジーパークの目的は、『環境保全と育成、人と自然との共生』を目指し、現在、全国から年間30万人の来園者があります。

現場の運営は、指定管理者制度により十勝エコロジー財団が担っており、園内には、ビジターセンターを中心に、コテージ、キャンプサイト、大池、水と霧の遊び場、ピクニック広場、フワフワドーム、ととろーど（魚道観察室）など、その他、さまざまな施設が展開されています。

この広大な施設を、春・夏・秋・冬の四季折々の特徴を生かしたプログラムに応じた指導者を招いており、そのほとんどがボランティア

アとのことでした。

また、専門家だけではなく、補助、その他雑用についても多くのボランティアの手によって、このエコロジーパークが支えられているとのことでした。

総工費53億円で供用開始された自然公園ですから、比布町の良佳村ゾーンにこのまま置き換えることにはなりません。プログラムやボランティアの活用、子どもたちの遊び場の進化など、現在の良佳村をどう変えていくか、人材の発掘をどう進めるか、町民の参加をどう喚起するか、さまざまなことを考察できた視察調査となりました。

産業建設常任委員長 八巻 良博

### 上川・留萌管内女性議員 研修会に参加して

安藤裕子・遠藤ハル子



10月1日に愛別協和温泉にて、女性議員研修会が行われ、両管内で頑張っている女性議員19名の参加がありました。

この研修会では、美深高等養護学校あいべつ校と廃校活用プロジェクト（愛山ものづくりビレッジの視察）、その後、情報交換を行いました。

特に、9月6日に発生した胆振東部地震での被害状況や今後の対応、行政への提案など、活発な意見が出され、とても有意義な研修会となりました。

安藤 裕子

# 議会のうごき

## 8月

- 6日 滋賀県湖南市商工関係者来町歓迎交流会  
(町内、議長・副議長)
- 8日 森林・林業・林産業活性化推進議員連盟連絡会総会  
(札幌市、産建委員長)
- 11日 北口ゆうこう道議と語る青空の集い  
(土別市、議長)
- 13日 戦没者追悼法要  
(比布霊園、議長)
- 17日 上川中央部市・町議会議長会定例会議  
(東川町、議長)
- 20日 家畜慰霊祭 (中央ふれあい広場、副議長)  
上川教育センター組合議会 (旭川市、議長)
- 22日 全道議会広報研修会 (札幌市、委員)
- 27~28日 総務・産業建設常任委員会合同行政視察調査  
(豊頃町・音更町、全委員・議長)
- 31日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)

議会広報特別委員会 (役場、委員)

## 10月

- 1~2日 上川・留萌管内女性議員研修会  
(各議員、愛別町)
- 4~5日 上川管内町村議会議長研修会  
(占冠村、議長)
- 10日 遠別町議会所管常任委員会行政視察来町  
(役場、議長)
- 17日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)  
議会運営委員会 (役場、委員・議長)  
議員全員協議会 (役場、全議員)  
第4回議会臨時会 (役場、全議員)
- 18日 議会広報特別委員会 (役場、委員)
- 21日 ささき隆博ふるさとの集い (旭川市、議長)  
中央小学校学芸会 (中学校、各議員)
- 22日 議員研修会講師との懇談会 (旭川市、議長)
- 23日 上川管内町村議会議員研修会  
(当麻町、全議員)
- 29日 議会広報特別委員会 (役場、正副委員長)

## 9月

- 3日 道北地方森林・林業・林産業活性化推進議員連盟連絡会総会 (旭川市、産建委員長)
- 4日 JR北海道4路線合同説明会 (旭川市、議長)
- 5日 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)
- 6日 議会運営委員会 (役場、委員・議長)
- 9日 比布中学校学校祭 (中学校、各議員)
- 11~13日 第3回議会定例会 (役場、全議員)  
平成29年度決算特別委員会 (役場、全委員)

## 11月

- 6日 上川中央部5町議会議員研修会  
(愛別町、各議員)

### \* 編集後記 \*

9月6日未明に起きた胆振東部地震により被害に遭われた方や犠牲になられた方々に、心からお見舞い、お悔やみ申し上げます。

幸いにして、比布町では大きな被害はなかったようですが、地震に伴う「ブラックアウト」により、停電、一部断水などで不安な思いをされた方も多かったことでしょう。

ある生命保険会社の防災意識調査の結果によると、「二年間で防災対策に使ったお金」の項目では、北海道は836円で、地域別では最下位とか。

今回の北海道を襲った地震で、災害時の生活を考えた備蓄の見直し、正しい情報発信のあり方など、今一度見直すきっかけとなりました。

各地での食べマルシェ、観光イベントなども行われるなか、一日も早い復旧、復興を願い、安心して生活を取り戻せるよう何かのかたちで応援していきたいと思えます。

さて、先日の9月議会定例会において、平成29年度決算審査が終了しました。

議会広報としても、「読まれ伝わる」議会広報誌作りに努力してまいりますので、よろしくお願いたします。

(安藤 裕子)

